

萩藩校明倫館創建300年記念

第17回

全国藩校サミット 萩大会

令和元年 11.30(土) 14:00~17:00
(開場13:00)

萩市民館大ホール

大会プログラム

- ◆オープニング お船謡
- ◆記念講演
東京大学史料編纂所教授 本郷 和人 氏
- ◆旧藩当主紹介
- ◆子ども文化活動
須佐育英塾「論語素読」
明倫小学校「松陰先生のことば朗唱」
萩光塩学院高校「書道パフォーマンス」
萩高等学校 合唱部「萩のなないろ」
萩商工高校「開発商品の披露・献上」
- ◆萩宣言

藩校サミットとは

江戸時代後期になると藩主は、領地の発展の担い手を育成するため、藩の教育機関(藩校)を設立しました。その歴史と功績を記念して(一社)漢字文化振興協会の主催により、藩校のあった地で藩校サミット大会が開催されるようになりました。

なぜ17回大会が萩?

萩藩5代藩主毛利吉元が明倫館を創建して300年の節目の年となることから、これを記念し、開催することになりました。

「藩校サミット」は一般社団法人漢字文化振興協会の登録商標です。
(登録第5638522号)



演題
「藩の学びと
明治維新」

記念講演講師
東京大学 史料編纂所教授
本郷 和人 氏

1960年東京下町生まれ。東京大学・大学院に学び、石井進・五味文彦に師事して日本中世史を専攻する。1988年に史料編纂所に入所。助手・助教授、東京大学情報学環准教授を経て現職。文学博士。大日本史料第5編の編纂に従事する。専門は日本中世政治史・古文書学。
【主な著書】『中世朝廷訴訟の研究』(1995.東京大学出版会)『戦いの日本史』(角川学術出版)など



オープニング
お船謡

山口県指定無形文化財「お船謡」は、毛利氏の御座船唄として藩主が乗船するときや新造船が進水するとき、また年頭に御船倉で代官が乗り初めの行事を催すときに演唱された。万治2年(1659)に住吉神社が勧請されてからは、その神幸祭に山車「お船」の上で詠われるようになったが、藩政時代には一般人の「お船謡」の演唱は禁じられ、演唱者も世襲的な藩の階級である「浜崎歌舸子」の家柄の者14人に限られていた。明治以降、神幸祭の行事のうち「お船」に関する事柄だけは浜崎の魚問屋が主催し、自家の使用人を使って「お船」を引かせ、問屋の若主人たちが「お船謡」を詠っていたが、後には浜崎町内で引き受けるようになり、演唱者も浜崎町内の一般男子から選ばれるようになった。

萩(長州)藩と毛利氏

関ヶ原の戦いに敗れ、防長に滅封された毛利輝元は長門国(山口県)阿武郡萩の指月山山麓に居城を構え、この地が江戸時代における毛利氏の拠点となりました。輝元の跡を継いだ秀就は、徳川家康の孫娘を正室に迎えて松平姓を与えられるなど、徳川氏との関係修復に成功しました。その跡を継いで2代藩主となった綱広のころには藩の諸体制もほぼ固まり、毛利氏は長門・周防2か国36万9,000余石を領有する西国の大藩・萩(長州)藩の藩主として江戸時代260年を過ごしました。

萩市はこんなまち

毛利輝元が慶長9年(1604)に開府して以来260年余り、毛利氏の城下町として発展。

国選定重要伝統的建造物保存地区が4地区あり、また、2015年に登録された世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」には萩の5資産「萩城下町、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、松下村塾」が含まれています。加えて、2018年9月20日には、「萩ジオパーク」が日本ジオパークに認定。さらには、日本海沖でとれる新鮮な魚介類、歴史ある伝統工芸「萩焼」など、萩は歴史・文化・食などがあふれた魅力いっぱいのもちです。



萩城下町



松下村塾



萩焼

今も残る旧萩藩校明倫館 関連遺構

藩校明倫館は、享保4年(1719)に5代藩主毛利吉元が毛利家家臣のために萩城三の丸に建てた藩校です。それから130年後、嘉永2年(1849)に現在の地に拡大移転しました。約5万㎡もの敷地内に学舎や武芸修練場などがあり、吉田松陰なども教鞭をふるっています。

その跡地は昭和4年(1929)12月に国の史跡に指定。昭和10年(1935)には、市立明倫小学校が整備され、その校舎は、平成26年(2014)3月に隣接地に移転するまで使用されました。現在は観光施設「萩・明倫学舎」として生まれ変わり、萩観光の窓口となっています。



有備館



水練池



聖賢堂



聖廟(孔子廟) 現・海潮寺本堂



観徳門



萩・明倫学舎

全国藩校サミット萩大会連携事業一覧

サミット大会期間中(11/30~12/1)実施されるイベント

- 陶と花のコラボレーション 萩美祭2019**
～花生け人による萩焼とコラボした
生け花・フラワーアレンジメント展示～
日時：11/26(火)～12/3(火)
9:00～17:00 ※最終日は14:00まで
場所：萩・明倫学舎
主催：萩美まちなか交流実行委員会
観覧料：無料
- 茶菓子作りデモンストレーション 萩美祭2019**
～松江の老舗「御菓子司 彩雲堂」の
菓子職人が実演～
日時：11/30(土) 11:00～(1時間程度)
場所：萩・明倫学舎
主催：萩美まちなか交流実行委員会 観覧料：無料
- 茶菓子作りワークショップ 萩美祭2019**
～2種類の茶菓子作り体験～
萩焼作家茶碗で抹茶と共に～
1回目/日時：11/30(土) 14:00～16:00
場所：萩・明倫学舎
2回目/日時：12/1(日) 10:00～12:00
場所：萩・明倫学舎
主催：萩美まちなか交流実行委員会
参加料：1,000円 要申込
- 呈茶席 萩美祭2019**
～萩の陶芸家たちの茶碗で抹茶を愉しむ～
日時：11/30(土)、12/1(日) 10:30～15:00 随時
場所：県立萩美術館・浦上記念館エントランスロビー
主催：萩美まちなか交流実行委員会
参加料：300円
- 山口大学公開講座 「版籍奉還と明治維新」**
日時：9/7(土) 13:00～16:00
場所：山口大学サテライトラボ萩
主催：山口大学
参加料：2,600円
- 名取裕子 三輪龍気生 対談 萩美祭2019**
～私とやきものと萩～
日時：11/24(日) 14:00～15:30
場所：県立萩美術館・浦上記念館講座室
主催：萩美まちなか交流実行委員会
参加料：無料 要申込(往復はがき) 11/11(月)締切
- 萩博物館特別展「長州藩校明倫館」～武士たちの学び舎～**
日時：11/9(土)～2020年1/5(日)
場所：萩博物館 観覧料：大人520円
- 高校生茶会 萩美祭2019**
～萩高茶道部～
日時：2020年1/11(土)、12(日) 10:30～14:30
場所：県立萩美術館・浦上記念館エントランスロビー
主催：萩美まちなか交流実行委員会 参加料：500円
- 講演会 藩校明倫館の教育**
日時：12/7(土) 13:30～15:00
場所：萩博物館講座室
講師：愛知教育大学特別教授 前田 勉
参加料：無料 申込不要
- 漢文検定**
日時：2020年2月予定 場所：萩・明倫学舎
主催：第17回全国藩校サミット萩大会実行委員会
要テキスト代

全国藩校サミット開催地

- 第1回 平成14年 東京都 江戸幕府 昌平坂学問所
- 第2回 平成15年 福島県会津若松市 会津藩 日新館
- 第3回 平成16年 佐賀県多良木市 佐賀藩 多良木 東原庫舎
- 第4回 平成17年 岡山県高梁市 備中松山藩 有終館
- 第5回 平成18年 長野県高遠市 高遠藩 進徳館
- 第6回 平成19年 山形県鶴岡市 庄内藩 致道館
- 第7回 平成20年 熊本県熊本市 熊本藩 時習館
- 第8回 平成21年 新潟県長岡市 長岡藩 崇徳館
- 第9回 平成22年 鳥根県松江市 松江藩 文明館
- 第10回 平成24年 茨城県水戸市 水戸藩 弘道館
- 第11回 平成25年 鹿児島県鹿児島市 薩摩藩 造士館
- 第12回 平成26年 埼玉県行田市 忍藩 進修館
- 第13回 平成27年 福岡県福岡市 福岡藩 修猷館
- 第14回 平成28年 香川県丸亀市 讃岐丸亀藩 正明館・明倫館
- 第15回 平成29年 石川県金沢市 加賀金沢藩 明倫堂・経武館
- 第16回 平成30年 京都府舞鶴市 丹後田辺藩 明倫館
- 第17回 令和元年 山口県萩市 萩藩 明倫館

主催/一般社団法人 漢字文化振興協会・第17回全国藩校サミット萩大会実行委員会

共催/萩市、萩市教育委員会

後援/山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送

協賛/学校法人日本大学、山口テレコム株式会社、株式会社井上商店、NTAトラベル萩本店、旺鑫閣、株式会社岸田商会、協和建設工業株式会社、学校法人拓殖大学、玉木病院、日本郵便株式会社(萩市内郵便局)、萩山口信用金庫、株式会社Phone Appli、公益財団法人防長倶楽部、マシヤマ印刷、山口銀行、国立大学法人山口大学、株式会社上田墨石彫刻店、株式会社コープ葬祭、指月建設株式会社、株式会社太陽コミュニケーションズ、田中建設株式会社、医療法人医誠会都志見病院、株式会社デンコー・テック、トーフレ株式会社、日進電気工事株式会社、株式会社萩観光ホテル、萩土建株式会社、萩本陣、萩むらた病院、波多野建設株式会社、株式会社丸久、株式会社村田蒲鉾店、毛利家事務所、山県自動車株式会社、山口県農業協同組合萩統括本部、医療法人わたぬきクリニック、新谷純、佐藤圭一、藤崎友行、湯原美和